

全国いじめ問題子供サミットの開催について

1. 目的

いじめは、どの子供にも、どの学校でも、起こり得る問題である。子供たちが自らの手でいじめの問題に取り組み、解決につなげていく意識を高め、実行していくことが、いじめの未然防止に効果的である。

このことを踏まえ、子供自身の主体的な活動に積極的に取り組んだ地域や学校の児童生徒が集い、交流する機会を設けることにより、このような取組の中核となるリーダーを育成するとともに、全国各地での多様な取組の実施を一層推進する。

2. 会場

文部科学省 3階講堂

3. テーマ

SNSでのいじめを含め、いじめの問題にどう立ち向かうか。

4. 開催日程 平成27年1月24日（土）10時～17時

10:00 開会行事（開会挨拶）

10:10 地域の取組発表（7地域が登壇して発表）

12:00 昼食・休憩（60分）

13:00 ポスターセッション発表（22地域が講堂前スペースにてそれぞれ発表）

13:30 グループ協議（20グループに分かれて話し合い）

14:25 休憩（15分）

14:40 全体交流（グループごとに協議内容を発表）

16:05 休憩（5分）

16:10 振り返り

16:25 講評（貝ノ瀬 滋様）

【サミットのまとめ（決意表明）】

SNSでのいじめの問題に立ち向かうために、私たちは、

- 傍観者を卒業します！
- コミュニケーションを大切にします！
- いじめが起きない環境をつくれます！

※教育再生実行会議委員、三鷹市教育委員会教育委員

16:40 閉会行事（丹羽副大臣御挨拶及び記念撮影）

5. 参加者数

38都県・指定都市 301人（児童生徒153人、引率者等約148人）

※児童生徒のみ35都県 153人

6. その他

当日は、NHK「いじめをノックアウト」に関連付けた取材が入った（3月のノックアウトスペシャルで放送予定。）また、NHKの「行動宣言」も配布した。

全国いじめ問題子供サミットの報告

●開催日時

平成27年1月24日(土) 10時～17時

●会場

文部科学省 3階講堂

●参加者数

25都県10指定都市 153名
(小学生26, 中学生127名)

●テーマ

SNSでのいじめを含め、いじめの問題にどう立ち向かうか

●内容

開催行事, 地域の取組発表(7地域), ポスターセッション(22地域), グループ協議, 全体交流, 振り返り, 講評, 閉会行事



全国いじめ問題子供サミットの報告

【地域の取組発表】

＜発表団体＞①栃木県，②埼玉県，③東京都，④鳥取県，⑤愛媛県，
⑥神戸市，⑦北九州市



全国いじめ問題子供サミットの報告

【ポスターセッション】

＜発表団体＞①青森県，②茨城県，③栃木県，④千葉県，⑤東京都，
⑥神奈川県，⑦富山県，⑧石川県，⑨岐阜県，⑩三重
県，⑪滋賀県，⑫岡山県，⑬徳島県，⑭香川県，⑮高知
県，⑯佐賀県，⑰鹿児島県，⑱さいたま市，⑲横浜市，
⑳浜松市，㉑岡山市，㉒北九州市



全国いじめ問題子供サミットの報告

【グループ協議】テーマに基づき、「SNSでのいじめの問題に立ち向かうために、私たちは●●します！」という決意文を作成。

□1グループ6～7名程度のグループ(校種別)

□全20グループで、司会者の進行により、決意文を作成



全国いじめ問題子供サミットの報告

G	決意文「SNSでのいじめの問題に立ち向かうために、私たちは、●●します！」
1	自分から行動し、よい関係を築きます！
2	いじめられている人、いじめている人を見捨てません。いじめている側にもいじめられている側にも相談する権利があるからです。そして、一人一人の心に自動ブレーキが宿り、自分で判断できることを望み、強く宣言します。
3	勇気をもってみんな平等な環境を築きます！必ずいじめをなくします！
4	SNSであったいじめや事件を、SNSを使っている人たちに呼びかけをします。また、SNSを使うかどうか親と話し合ってから、決めます。
5	傍観者(ぼうかんしゃ)を卒業します！
6	嫌な空気を断ち切ります！
7	お互いに理解しあいます！
8	小さなことでも、今できる一步を踏み出し、いじめを許さない雰囲気をつくります！
9	学校全体での意識を共通化していきます！
10	いじめの早期発見をします！
11	みんなのことを知ります！
12	よい雰囲気づくりのために根気よく注意を続けていきます！
13	見えないいじめについて、みんなで考える環境を広げていきます！
14	いろいろな人とのコミュニケーションを大切にします。
15	学校全体で決めたルールをしっかりと守り、地域とのコミュニケーションをする。また、市と連携し、決められたルールを守ります！
16	相手のことを考え、長所を見つけて行動します！
17	相手をほめることで、相手を認めることをします！
18	普段から相手の気持ちを考えて会話します！何気ない会話で、いじめられている人の気持ちを考えられるよう努力する！
19	月に一度意思表示カードを用いて全員参加の話し合いの場をクラスごとに設けます！
20	言葉を選択します！

全国いじめ問題子供サミットの報告

【全体交流】

□児童生徒の代表者(挙手)による司会進行

□本サミットの成果として、各グループから表明された決意をもとに、3つにまとめた。



＜本サミットの決意表明＞

SNSでのいじめの問題に立ち向かうために、私たちは、

○傍観者(ぼうかんしゃ)を卒業します！

○コミュニケーションを大切にします！

○いじめが起きない環境をつくります！

全国いじめ問題子供サミットの報告

【振り返り】

＜参加者の声＞

○いじめの問題について深く考えることができたし、他の地域の取組を知ることができたので良かった。

○他の地域の同学年の生徒と交流で来てよかった。良い刺激になった。また、いじめの問題に対する解決方法を知ることができた。

○多くの取組を知ることができて良かった。この成果を、改めていじめの問題に対して考え直してもらえるよう、生徒会でまとめ、学校や地域に発信していきたい。

全国いじめ問題子供サミットの報告

【講評・閉会行事】

＜講評＞

- 貝ノ瀬 滋 様(教育再生実行会議委員, 三鷹市教育委員会
教育委員)

＜閉会行事＞

- 丹羽秀樹文部科学副大臣より御挨拶
- 記念撮影(1～10グループ, 11～20グループ)

